

A 経営の基本

7 アニマルウェルフェア 27審査チェックリスト(家畜・畜産物)

認証基準(チェック項目)		はい	該当なし
アニマルウェルフェアの考え方に対応した乳用牛の飼養管理指針に関するチェックリスト			
1 管理方法			
① 観察・記録			
1	牛の健康状態を把握するため、搾乳時以外に1日1回以上観察を行っていますか		
2	観察の際には、病気やけがの発生の予防等に努めるため、健康悪化の兆候がないか。また、けが、病気等が発生していないかを確認していますか		
3	飼養管理に関する記録を毎日つけていますか(温度、病気・事故の発生の有無、泌乳の状況、出生・死亡頭数等を日誌や報告書に記録していますか)		
② 牛の取扱い			
1	牛に不要なストレスを与えたり、牛がけがを負うような手荒な取扱いをせず、日頃から丁寧に接していますか		
2	牛舎内で作業をしたり、牛に近づいたりする際は、牛に不要なストレスを与えるような突発的な行動(急に走りだす、大声をあげる等)を起こさないようにしていますか		
③ 除角(実施している場合はお答え下さい)			
1	除角を行う際は、牛に過剰なストレスを与えないように、可能な限り苦痛を感じさせない方法で実施し、必要に応じて獣医師等の指導の下、麻酔薬や鎮痛剤の使用を検討していますか		
2	除角は、角が未発達の時期(遅くとも生後2ヶ月以内)に実施していますか		
3	除角実施後は牛を注意深く観察して、化膿等の恐れがある場合には、必要に応じて治療等の適切な処置を行っていますか		
4	化学的薬品(ペースト)を使用している場合、角以外の場所や他の牛に薬品が付着しないように注意していますか		
④ 断尾			
1	断尾は実施せず、それ以外の方法で牛体や乳房の汚れを防止していますか		
⑤ 個体識別			
1	牛トレーサビリティ法に基づき、牛へのストレスを極力減らすよう、耳標を適切に装着するとともに牛の出生や異動の届出を行っていますか		
⑥ 蹄の管理			
1	日常的にこまめに蹄を観察し、必要に応じて削蹄を行っていますか		
⑦ 搾乳			
1	搾乳は、牛に不快感を与えず、手早く、衛生的(搾乳前の乳頭の消毒、搾乳後のディッピング等)に行っていますか		
2	毎日、概ね決まった時間に搾乳を行っていますか(自動搾乳を除く)		
3	搾乳のための待機時間が長くなりすぎないように、搾乳頭数に応じて、搾乳に携わる作業者の人数や搾乳機の台数等を考慮していますか		
⑧ 乾乳			
1	乾乳時に、乳房炎に罹っている牛がいた場合は、その治療を行っていますか		
2	乾乳牛の栄養状態(ボディコンディション)は適切に保たれていますか		
⑨ 繁殖			
1	雌牛の性成熟の程度や体格等を考慮して、種雄牛及び性別別精液等を選択していますか		
2	人工授精や受精卵移植等を実施する場合には、技術を習得した者が可能な限り苦痛を生じさせない方法で行っていますか		
⑩ 分娩			
1	床面が滑りにくく、平面で乾燥した分娩スペースはありますか		
2	夜間の分娩に備えた照明や保温と滑り止めのために必要な敷料等を準備していますか		
3	難産や後産停滞など、介助が必要になったときのために十分な準備をしていますか		
4	必要に応じて獣医師の指導が受けられる体制になっていますか		
⑪ 母子分離及び離乳等			
1	母子分離や離乳を行う場合は、母牛や子牛に余分なストレスがかからないように配慮して行っていますか(時期、反芻胃の発達、移動させる際の適切な取扱い等に配慮している)		
2	離乳後の育成牛は、同体格の牛で群飼していますか		
⑫ 病気、事故等の措置			
1	けがや病気の牛やその兆候が見られる牛がいる場合、可能な限り丁寧に移動・分離し、迅速に治療を行っていますか		
2	治療を行っても回復の見込みがない場合は、獣医師に相談の上、「動物の殺処分方法に関する指針(平成7年総理府告示第40号)」に準じた適切な方法(できる限り動物に苦痛を与えない方法)での安楽死の処置を検討していますか		
3	病気・事故の発生頻度が高い場合、獣医師に相談していますか		
⑬ 牛舎等の清掃・消毒			
1	牛舎の清掃や消毒等を行い、施設及び設備、器具等を清潔に保っていますか		
2	牛にとって快適な状態を保つため、排せつ物は適切に取り除いていますか		
⑭ 農場内における防疫措置等			
1	家畜伝染病予防法に基づき「飼養衛生管理基準」に基づき、病原体を農場に侵入させないための衛生管理を行っていますか		
2	飼料の汚染、施設や設備の破損、病原体伝播等の原因となる有害動物(ネズミ等)や吸血動物(アブ、サンバエ等)の侵入防止や発生予防、駆除を必要に応じて行っていますか		
⑮ 管理者等のアニマルウェルフェアへの理解の促進			
1	管理者及び飼養者は、牛の健康を維持するために、飼養管理技術の重要性や牛を丁寧に扱うことの必要性等を理解していますか		
2	日頃から必要に応じて、獣医師等のアドバイスを受けながら、牛の基本的な行動様式や牛の快適性を高めるための飼養管理方式、病気の発生予防等に関する知識の習得に努めていますか		

A 経営の基本

7 アニマルウェルフェア 27審査チェックリスト(家畜・畜産物)

認証基準(チェック項目)		はい	該当なし
2 栄養			
① 給餌・給水			
1	飼料は少なくとも1日1回給与していますか		
2	給餌時間は、可能な限り毎日同じ時間としていますか		
3	牛の発育段階や泌乳ステージ等に応じた適切な栄養素を含んだ飼料を給与していますか		
4	飼料を変更する場合は、計画的かつ段階的に行っていますか		
5	牛にとって適切なボディコンディションが維持されていますか		
6	牛にとって十分な量の水を給与していますか		
7	水は、毎日新鮮で汚染されていないものを給与していますか		
8	水の冬季凍結に注意していますか		
9	飼料や水の品質を確保するため、給餌器や給水器は、定期的なチェック及び清掃を行っていますか		
10	給餌・給水の際、過剰な闘争が起こらないように給餌器や給水器は月齢・体重等に応じて十分な数やスペースが確保されていますか		
② 初乳、子牛の給餌			
1	出生後、24時間以内に十分な量の初乳を飲ませていますか		
2	初乳は伝染性疾患の感染の恐れがないものを飲ませていますか		
3	離乳後の正常な反芻行動を促すため、生後1週間頃から良質な固形飼料や乾草を給与していますか		
3 牛舎			
1	牛舎や牛房、通路等は、突起物で牛がけがをしないような構造になっていますか。また、破損によって牛がけがをしないように注意していますか		
2	牛床は、表面が乾きやすく、滑りにくいもので、容易に横になったり、立ち上がったたりできる構造になっていますか		
3	牛をよく観察して、飼養スペースが適当であるかどうか確認していますか		
4	管理者及び飼養者にとって、日常の飼養管理や観察が行いやすい構造になっていますか		
5	排泄物処理が適切にできるような牛舎の構造になっていますか		
6	ロープ等で繋留(繋ぎ飼育)している場合、容易に横になったり、立ち上がったたり、身繕いできる長さを確保していますか		
7	繋ぎ飼育方式の場合、牛を運動させる機会がありますか		
8	カウトレーナーを使用している場合、適切な方法で設置・使用されているか確認していますか		
9	フリーストールの場合、少なくとも1頭1牛床が確保されていますか		
4 牛舎の環境			
1	気象や環境の変化によって牛舎内の温度・湿度が大きく変化しないように注意していますか		
2	牛の快適性を維持するため、可能な限り、暑熱対策(直射日光を防ぐ、送風、屋根への散水、舎内への細霧散布等)や寒冷対策を行っていますか		
3	牛舎内の換気を適切に行い、常に新鮮な空気を供給していますか		
4	アンモニアの臭気を不快に感じる状態にならないよう(25ppmを超えないよう)に注意していますか		
5	牛が飼料及び水の摂取等の行動や、飼養者及び管理者が日常作業を支障なく行えるように適切な照明設備等を設置していますか		
6	搾乳施設の照明は、作業者が搾乳機器等の管理を十分に行うことのできる明るさを確保していますか		
7	牛舎内の設備等による騒音を可能な限り小さくし、絶え間ない騒音や突然の騒音を避けるように注意していますか		
5 その他			
1	アニマルウェルフェアの向上を図るため、常に牛が健康で快適な生活ができているかどうかを把握するための努力をしていますか		
2	自動化された設備(自動給餌器等)がある場合、正常に作動しているかどうか、少なくとも1日1回は点検していますか		
3	搾乳機は、毎日点検するとともに、必要に応じて消耗部品の交換等を行っていますか		
4	農場における火災や地震、浸水、道路事情による飼料供給の途絶等の緊急事態に対応するための検討や、危機管理マニュアル等(連絡網等)を作成していますか		

A 経営の基本

7 アニマルウェルフェア 27審査チェックリスト(家畜・畜産物)

認証基準(チェック項目)		はい	該当なし
アニマルウェルフェアの考え方に対応した肉用牛の飼養管理指針に関するチェックリスト			
1 管理方法			
① 観察・記録			
1	牛の健康状態を把握するため、1日1回以上観察を行っていますか		
2	牛を観察する際に病気やけがの発生の予防等に努めるため、健康悪化の兆候や、けが、病気等が発生していないかを確認していますか		
3	飼養管理に関する記録を毎日つけていますか(温度、病気・事故の発生の有無、出生数・死亡数等を日誌や報告書に記録していますか)		
② 牛の取扱い			
1	牛に不要なストレスを与えたり、牛がけがを負うような手荒な取扱いをせず、日頃から丁寧に接していますか		
2	牛舎内で作業をしたり、牛に近づいたりする際は、牛に不要なストレスを与えるような突発的な行動(急に走りだす、大声をあげる等)をしないように努めていますか		
③ 除角・去勢・鼻環(実施している場合はお答え下さい)			
1	除角を行う際は、獣医師等の指導の下、牛に過剰なストレスを与えないように、可能な限り苦痛を感じさせない方法で実施していますか		
2	除角は、生後2ヶ月以内に実施していますか		
3	除角実施後は牛を注意深く観察して、化膿等の恐れがある場合には、必要に応じて治療等の適切な処置を行っていますか		
4	去勢を行う際は、獣医師等の指導の下、可能な限り苦痛を感じさせない方法で実施していますか		
5	去勢は、生後3ヶ月以内に実施していますか		
6	去勢実施後は牛を注意深く観察して、化膿や感染症の恐れがある場合には、必要に応じて治療等の適切な処置を行っていますか		
7	鼻環を装着する際は、獣医師等の指導の下、可能な限り苦痛を感じさせない方法で、適切な場所に装着していますか		
8	鼻環装着後は牛が牧柵などに鼻環を引っかけてけがをしないように注意していますか		
④ 個体識別			
1	牛トレーサビリティ法に基づき、耳標の装着及び牛の出生や異動の届出を行っていますか		
⑤ 蹄の管理			
1	日常的にこまめに蹄を観察し、必要に応じて削蹄を行っていますか		
⑥ 分娩			
1	分娩房はありますか		
2	分娩する場所の床は乾燥して、滑らない構造になっていますか		
3	夜間の分娩に備えた照明や保温と滑り止めのために必要な敷料等を準備していますか		
4	難産や後産停滞など、介助が必要になったときのために十分な準備をしていますか		
5	必要に応じて獣医師の指導が受けられる体制になっていますか		
⑦ 病気、事故等の措置			
1	けがや病気の牛やその兆候が見られる牛がいる場合、可能な限り丁寧に移動・分離し、迅速に治療を行っていますか		
2	治療を行っても回復の見込みがない場合は獣医師に相談の上、適切な方法での安楽死の処置を検討していますか		
3	病気・事故の発生頻度が高い場合、獣医師に相談していますか		
⑧ 牛舎等の清掃・消毒			
1	牛舎の清掃や消毒等を行い、施設及び設備、器具等を清潔に保っていますか		
2	牛にとって快適な状態を保つため、敷料の追加や交換を行っていますか		
3	牛房が空いたときには、敷料等を取り除き、洗浄、消毒等を行っていますか		
⑨ 農場内における防疫措置等			
1	家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」に基づき、病原体を農場に侵入させないための衛生管理を行っていますか		
2	飼料の汚染、施設や設備の破損、病原体伝播等の原因となる有害動物(ネズミ等)や吸血動物(アブ、サンバエ等)の侵入防止や発生予防、駆除を必要に応じて行っていますか		
⑩ 管理者等のアニマルウェルフェアへの理解の促進			
1	管理者及び飼養者は、牛の健康を維持するために、飼養管理技術の重要性や牛を丁寧に扱うことの必要性等を理解していますか		
2	日頃から必要に応じて、獣医師等のアドバイスを受けながら、牛の基本的な行動様式や牛の快適性を高めるための飼養管理方式、病気の発生予防等に関する知識の習得に努めていますか		

A 経営の基本

7 アニマルウェルフェア 27審査チェックリスト(家畜・畜産物)

認証基準(チェック項目)		はい	該当なし
2 栄養			
① 給餌・給水			
1	飼料は少なくとも1日1回給与していますか		
2	給餌時間は、可能な限り毎日同じ時間としていますか		
3	牛の発育段階に応じた適切な栄養素を含んだ飼料を給与していますか		
4	飼料を変更する場合は、計画的かつ段階的に行っていますか		
5	粗飼料は、質や給与量に注意し、適切に給与していますか		
6	ビタミンA制御を行う場合、ビタミンA欠乏が起こらないように制御時期と給与量について十分注意を払い、飼料給与計画を立てていますか		
7	牛にとって十分な量の水を給与していますか		
8	牛にとって適切なボディコンディションが維持されていますか		
9	水は、毎日新鮮で汚染されていないものを給与していますか		
10	水について、夏季の高温や冬季の凍結に注意していますか		
11	飼料や水の品質を確保するため、給餌器や給水器は、定期的なチェック及び清掃を行っていますか		
12	給餌・給水の際、過剰な闘争が起こらないように給餌器や給水器は十分な数やスペースが確保されていますか		
② 初乳、子牛の給餌			
1	出生後、数時間以内に十分な量の初乳を飲ませていますか		
2	初乳は伝染性疾患の感染の恐れがないものを飲ませていますか		
3	離乳後の正常な反芻行動を促すため、生後1週間頃から良質な固形飼料や乾草を給与していますか		
3 牛舎			
1	牛舎や牛房、通路等は、突起物で牛がけがをしないような構造になっていますか。また、破損によって牛がけがをしないように注意していますか		
2	床は滑りにくく、容易に横になったり、立ち上がったたりできる構造になっていますか		
3	牛をよく観察して、飼養スペースが適当であるかどうか確認していますか		
4	管理者及び飼養者にとって、日常の飼養管理や観察が行いやすい構造になっていますか		
5	排泄物処理が適切にできるような牛舎の構造になっていますか		
4 牛舎の環境			
1	気象や環境の変化によって牛舎内の温度・湿度が大きく変化しないように注意していますか		
2	牛の快適性を維持するため、可能な限り、暑熱対策(直射日光を防ぐ、送風、屋根への散水、舎内への細霧散布等)や寒冷対策を行っていますか		
3	牛舎内の換気を適切に行い、常に新鮮な空気を供給していますか		
4	アンモニア濃度が25ppm(臭気を感じるレベルを乗り越えて、不快感がおこるレベル)を超えないように留意していますか		
5	牛が飼料及び水の摂取等の行動や、飼養者及び管理者が日常作業を支障なく行えるように適切な照明設備等を設置していますか		
6	牛舎内の設備等による騒音を可能な限り小さくし、絶え間ない騒音や突如の騒音を避けるよう努めていますか		
5 その他			
1	アニマルウェルフェアの向上を図るため、常に牛が健康で快適な生活ができているかどうかを把握するための努力をしていますか		
2	自動化された設備(自動給餌器等)がある場合、正常に作動しているかどうか、少なくとも1日1回は点検していますか		
3	農場における火災や浸水、道路事情による飼料供給の途絶等の緊急事態に対応するため、危機管理マニュアル等(連絡網等)を作成していますか		

A 経営の基本

7 アニマルウェルフェア 27審査チェックリスト(家畜・畜産物)

認証基準(チェック項目)		はい	該当なし
アニマルウェルフェアの考え方に対応した豚の飼養管理指針に関するチェックリスト			
1 管理方法			
① 観察・記録			
1 豚の健康状態を把握するため、1日1回以上観察を行っていますか			
2 観察の際には、病気やけがの発生の予防等に努めるため、健康悪化の兆候がないか。また、けが、尾かじり、病気等が発生していないかを確認していますか			
3 母豚の栄養状態等を把握するため、ボディコンディションをチェックしていますか			
4 飼養管理に関する記録を毎日つけていますか(温度、健康状態、病気・事故の発生の有無や原因、出生数・死亡数等を日誌や報告書に記録していますか)			
② 豚の取扱い			
1 日常の管理や農場内で豚を移動させる際は、豚に不要なストレスを与えたり、豚がけがを負うような手荒な取扱いをせず、日頃から丁寧に接していますか			
2 豚舎内で作業をしたり、豚に近づいたりする際は、豚に不要なストレスを与えるような突発的な行動(急に走りだす、大声をあげる等)を起こさないようにしていますか			
3 豚の取扱いの際に使用する道具は、豚に不要な痛みを与えないよう、鋭い角や先の尖った道具等を使わないようにしていますか			
4 異なる群で飼養されていた豚を一緒にする場合、可能な限り、闘争等が起こらないように通常よりも注意して観察・管理等を行っていますか			
③ 新生子豚の管理			
・歯切り(実施している場合はお答え下さい)			
1 歯切りは、生後7日以内に実施していますか			
2 歯切りを行う際は、子豚に過剰なストレスを与えないように注意し、感染症に罹らないための予防を行っていますか			
3 歯切り実施後は豚を注意深く観察し、化膿等が見られる場合は速やかに治療を行っていますか			
・断尾(実施している場合はお答え下さい)			
1 断尾は、生後7日以内に実施していますか			
2 断尾を行う際は、子豚に過剰なストレスを与えないように注意し、感染症に罹らないための予防を行っていますか			
3 断尾実施後は豚を注意深く観察し、化膿等が見られる場合は速やかに治療を行っていますか			
・去勢(実施している場合はお答え下さい)			
1 去勢は、生後7日以内に実施していますか。			
2 去勢を行う際は、子豚に過剰なストレスを与えないように注意し、感染症に罹らないための予防を行っていますか			
3 去勢実施後は豚を注意深く観察し、化膿等が見られる場合は速やかに治療を行っていますか			
④ 個体識別(実施している場合はお答え下さい)			
1 個体識別(耳刻、耳標、入墨等)を行う際は、子豚に過剰なストレスを与えないように注意し、感染症に罹らないための予防を行っていますか			
2 個体識別実施後は豚を注意深く観察し、化膿等が見られる場合は速やかに治療を行っていますか			
3 耳刻を行う場合、生後7日以内に実施していますか			
⑤ 離乳			
1 離乳は、子豚にとってストレスとなるため、離乳子豚及び母豚への影響が最小限になるよう十分に考慮して行っていますか			
2 早期離乳を行う場合、子豚の生理特性を十分に理解し、必要な技術等を習得した者が実施し、管理を行っていますか			
⑥ 病気、事故等の措置			
1 けがや病気の豚、その兆候が見られる豚がいる場合、可能な限り丁寧に移動・分離し、迅速に治療を行っていますか			
2 治療を行っても回復の見込みがない場合や、著しい生育不良や虚弱で回復の見込みのない場合で、安楽死を採用することとなった際には、「動物の殺処分方法に関する指針(平成7年総理府告示第40号)」に準じ、できる限り動物に苦痛を与えない方法で処置を行っていますか			
⑦ 豚舎等の清掃・消毒			
1 豚と接触する部分(豚舎、施設、設備、器具等)は、清掃や洗浄等を行い、清潔に保っていますか			
2 オールイン・オールアウトを行う場合や豚房が空いた場合には、新しい群の導入前に洗浄、消毒及び乾燥等を行っていますか			
⑧ 農場内における防疫措置等			
1 家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」に基づき、病原体を農場に侵入させないための衛生管理を行っていますか			
2 飼料の汚染、施設や設備の破損、病原体伝播等の原因となる有害動物(ネズミ等)や吸血動物(アブ、サシバエ等)の侵入防止や発生予防、駆除等を必要に応じて行っていますか			
⑨ 管理者等のアニマルウェルフェアへの理解の促進			
1 管理者及び飼養者は、豚の健康を維持するために、飼養管理技術の重要性や豚を丁寧に扱うことの必要性等を理解していますか			
2 日頃から必要に応じて、獣医師等のアドバイスを受けながら、豚の基本的な行動様式や問題行動、豚の快適性を高めるための飼養管理方式、病気の発生予防等に関する知識の習得に努めていますか			

A 経営の基本

7 アニマルウェルフェア 27審査チェックリスト(家畜・畜産物)

認証基準(チェック項目)		はい	該当なし
2 栄養			
1	全ての豚に、毎日新鮮な飼料を必要量給与していますか		
2	給餌時間は、可能な限り毎日同じ時間としていますか		
3	豚の発育段階に応じた適切な栄養素を含んだ飼料を給与していますか		
4	飼料を変更する場合は、計画的かつ段階的に行っていますか		
5	水は、毎日新鮮で汚染されていないものを十分な量給与していますか		
6	水は、夏季の高温や冬季の凍結に注意していますか		
7	飼料や水の品質の低下を防ぐため、給餌器や給水器は、定期的なチェック及び清掃を行っていますか		
8	給餌・給水の際、過剰な闘争が起こらないように給餌器や給水器は十分な数やスペースが確保されていますか		
3 豚舎			
1	豚舎や豚房等の破損があった場合、それが原因で豚がけがをしないように対応していますか		
2	管理者及び飼養者にとって、日常の飼養管理や観察が行いやすい構造になっていますか		
3	豚舎は、適切な排泄物処理ができる構造になっていますか		
4 飼養方式、構造、飼養スペース			
1	管理者及び飼養者は、飼養方式(単飼、群飼等)の特徴や設備等の使用方法等を理解していますか		
2	床は、スリップ等でけがが発生しないように滑りにくい構造になっていますか。また、けがの原因となるような突起物がない状態になっていますか		
3	スノコのスリット幅は、爪等が挟まりにくいように豚の月齢等に合ったものになっていますか		
4	分娩豚や泌乳中の母豚を飼育する施設は、支障なく飼料や水が摂取でき、子豚の圧死の防止や、子豚が自由に母乳を飲める構造になっていますか		
5	豚の行動等をよく観察したうえで、飼養スペースが適当であるかを判断していますか		
5 豚舎の環境			
1	気象や環境の変化によって豚舎内の温度・湿度が大きく変化しないように注意していますか		
2	豚の快適性を維持するため、可能な限り、暑熱対策(クーリングパッド、細霧システム等)や寒冷対策を行い、適温を維持していますか		
3	新生子豚のために十分な保温対策を行っていますか		
4	豚舎内の換気を適切に行い、常に新鮮な空気を供給していますか		
5	アンモニア濃度が25ppm(臭気を感じる状態を乗り越えて、不快を感じる状態)を超えないように注意していますか		
6	豚が飼料及び水の摂取等の行動や、飼養者及び管理者が日常作業を支障なく行えるように適切な照明設備等を設置していますか		
7	豚舎内の設備等による騒音を可能な限り小さくし、絶え間ない騒音や突然の騒音を避けるように注意していますか		
6 その他			
1	自動化された設備(自動給餌器、空調システム等)がある場合、正常に作動しているかどうか、少なくとも1日1回は点検していますか		
2	農場における火災や浸水、道路事情による飼料供給の途絶等の緊急事態に対応するため、危機管理マニュアル等(連絡網等)を作成していますか		

A 経営の基本

7 アニマルウェルフェア 27審査チェックリスト(家畜・畜産物)

認証基準(チェック項目)	はい	該当なし
アニマルウェルフェアの考え方に対応した採卵鶏の飼養管理指針に関するチェックリスト		
1 管理方法		
① 観察・記録		
認証基準(チェック項目)	はい	該当なし
1 鶏の健康状態を把握するため、1日1回以上観察を行っていますか		
2 観察の際には、病気やけがの発生の予防等に努めるため、健康悪化の兆候がないか。また、けが、羽つき、病気等が発生していないかを確認していますか		
3 飼養管理に関する記録を毎日つけていますか(産卵率、温度、病気・事故の発生の有無や原因、死亡羽数、飼料・水の消費量等を日誌や報告書に記録していますか)		
② 鶏の取扱い		
1 鶏に不要なストレスを与えたり、鶏がけがを負うような手荒な取扱いをせず、日頃から丁寧に接していますか		
2 鶏舎内で作業をしたり、鶏に近づいたりする際は、鶏に不要なストレスを与えるような突発的な行動(大声をあげる、急激な動作を行う等)を起こさないようにしていますか		
3 鶏を捕まえる際は、鶏が骨折したり、けがをしらないように注意して捕まえていますか(鶏を捕まえる際は、丁寧に作業を行っていますか)		
4 異なる群で飼育されていた鶏を一緒にする場合、可能な限り、闘争等が起こらないように通常よりも注意して観察・管理等を行っていますか		
③ 羽つき防止		
1 羽つきを防止するため、可能な限り、飼養管理の方法や飼養環境(飼養スペース、けがをした鶏の分離、光線管理等)に配慮していますか		
・ビークトリミング(実施している場合はお答え下さい)		
1 ビークトリミングは、餌付け後10日以内の鶏に実施していますか		
2 ビークトリミングを行う際は、処置範囲を最小限にとどめるなど可能な限り苦痛を感じさせない方法で行っていますか		
3 ビークトリミング実施後は、鶏を注意深く観察し、必要に応じて治療等の適切な処置を行っていますか		
④ 誘導換羽(休産)(実施している場合はお答え下さい)		
1 誘導換羽は、綿密な管理の下で健康な鶏に実施していますか		
2 誘導換羽実施中に異常(通常よりも死亡率が高い、健康状態が明らかに悪化している等)が見られた場合は、誘導換羽を中止していますか		
3 誘導換羽実施中に水を飲ませていますか		
4 飼料を給与しながら換羽を誘導する方法の実施、または導入を検討していますか		
⑤ 病気、事故等の措置		
1 けがや病気の鶏、病気の兆候が見られる鶏がいる場合は、可能な限り迅速に治療を行っていますか		
2 死亡した鶏がいた場合は可能な限り迅速に他の鶏から離していますか		
3 治療を行っても回復の見込みがない鶏や、著しい生育不良や虚弱な鶏は、「動物の殺処分方法に関する指針(平成7年総理府告示第40号)」に準じた適切な方法(頸椎脱臼等)で安楽死の処置を行っていますか		
⑥ 鶏舎等の清掃・消毒		
1 鶏と接触する部分(鶏舎、施設、設備、器具等)は、清掃や洗浄等を行い、清潔に保っていますか		
2 鶏舎から鶏を出荷した際は、新しい群の導入前に可能な範囲で鶏舎の洗浄、消毒、乾燥を行っていますか		
⑦ 農場内における防疫措置等		
1 家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」に基づき、病原体を農場に侵入させないための衛生管理を行っていますか		
2 病原体の伝播や飼料の汚染の原因となる野鳥、ネズミ、ハエ等の有害動物の侵入防止、駆除を行っていますか		
⑧ 種鶏の飼養管理(種鶏を飼養している場合はお答え下さい)		
1 雄の種鶏が他の鶏にけがをさせるのを防止するため、鉤爪の除去等を行う場合、除去部分を最小限にするなど、可能な限り苦痛を感じさせない方法で実施していますか		
⑨ 管理者等のアニマルウェルフェアへの理解の促進		
1 管理者及び飼養者は、鶏の健康を維持するために、飼養管理技術の重要性や鶏を丁寧に扱うことの必要性等を理解していますか		
2 日頃から必要に応じて、獣医師等のアドバイスも受けながら、鶏の基本的な行動様式や問題行動、鶏の快適性を高めるための飼養管理方式、病気の発生予防等に関する知識の習得に努めていますか		

A 経営の基本

7 アニマルウェルフェア 27審査チェックリスト(家畜・畜産物)

認証基準(チェック項目)		はい	該当なし
2 栄養(給餌・給水)			
1	飼料は少なくとも1日1回給与していますか(誘導換羽の時を除く)		
2	給与時間は、可能な限り毎日同じ時間としていますか		
3	鶏の発育段階や産卵期(初産、産卵最盛期、産卵後期等)に応じた適切な栄養素を含んだ飼料を給与していますか		
4	飼料を変更する場合は、計画的かつ段階的に行っていますか		
5	水は、新鮮なものを毎日十分な量給与していますか		
6	飼料や水の品質の低下を防ぐため、給餌器や給水器は、定期的なチェック及び清掃を行っていますか		
7	鶏が過剰な闘争を起こさないように、餌の摂取や飲水のための十分なスペースが確保されていますか		
3 鶏舎			
1	鶏舎や設備等の破損があった場合、それが原因で鶏がけがをしないように対応していますか		
2	鶏舎は、管理者及び飼養者にとって、日常の飼養管理や観察が行いやすい構造になっていますか		
3	鶏舎は、適切な排泄物処理ができる構造になっていますか		
4 飼養方式、構造、飼養スペース			
1	管理者及び飼養者は、飼養方式(ケージ方式、平飼い方式等)の特徴や設備等の使用方法を理解していますか		
2	床の形状や床面の傾斜は、鶏の足のけがや変形等を引き起こす原因とならないような構造になっていますか		
3	鶏の行動等をよく観察したうえで判断し、必要な飼養スペースを確保していますか		
4	ケージを使用している場合、鶏が正常に立つことができる高さになっていますか		
5	ケージを使用している場合、ケージの開口部は鶏がけがをせずに取り出せる大きさと、容易に鶏を取り出すことができる配置になっていますか		
6	ケージを使用している場合、上段の鶏の排せつ物が下段の鶏の上に落ちないような構造になっていますか		
5 鶏舎の環境			
1	気象や環境の変化によって鶏舎内の温度・湿度が大きく変化しないように注意していますか		
2	鶏の快適性を維持するため、可能な限り、暑熱対策や寒冷対策を行っていますか		
3	鶏舎内の換気を適切に行い、常に新鮮な空気を供給していますか		
4	アンモニア濃度が25ppm(臭気を感じる状態を通り越して、不快を感じる状態)を超えないように注意していますか		
5	光線管理(点灯時間の操作)を行う際は、鶏の習性等を考慮して計画的に行っていますか		
6	鶏舎内の照明は、鶏が飼料及び水の摂取等の行動や管理者が日常作業を支障なく行うことができる明るさになっていますか		
7	鶏舎内の設備等による騒音を可能な限り小さくし、絶え間ない騒音や突然の騒音を避けるように注意していますか		
6 その他			
1	自動化された設備(換気扇、自動給餌器等)がある場合、正常に作動しているかどうか、少なくとも1日1回は点検していますか		
2	農場における火災や浸水、道路事情による飼料供給の途絶等の緊急事態に対応するため、危機管理マニュアル等(連絡網等)を作成していますか		

A 経営の基本

7 アニマルウェルフェア 27審査チェックリスト(家畜・畜産物)

認証基準(チェック項目)		はい	該当なし
アニマルウェルフェアの考え方に対応したブロイラーの飼養管理指針に関するチェックリスト			
1 管理方法			
① 観察・記録			
認証基準(チェック項目)		はい	該当なし
1	鶏の健康状態を把握するため、1日1回以上観察を行っていますか		
2	鶏を観察する際に病気やけがの発生の予防等に努めるため、健康悪化の兆候や、けが、病気等が発生していないかを確認していますか		
3	飼養管理に関する記録を毎日つけていますか(温度、病気・事故の発生の有無や原因、死亡羽数、飼料・水の消費量等を日誌や報告書に記録していますか)		
② 鶏の取扱い			
1	鶏に不要なストレスを与えたり、鶏がけがを負うような手荒な取扱いをせず、日頃から丁寧に接していますか		
2	鶏舎内で作業をしたり、鶏に近づいたりする際は、鶏に不要なストレスを与えるような突発的な行動(大声をあげる、急激な動作を行う等)をしないように努めていますか(ゆっくりと移動し、観察する等の方法をとっている)		
3	捕鳥は、鶏に負担のかからない方法(けが、骨折等をしない)で行っていますか		
③ 病気、事故等の措置			
1	けがや病気の鶏、病気の兆候が見られる鶏がいる場合は、可能な限り分離し、適切な処置を行っていますか		
2	死亡した鶏がいた場合は可能な限り迅速に分離していますか		
3	治療を行っても回復の見込みがない鶏や、著しい生育不良や虚弱な鶏は、適切な方法(頸椎脱臼等)で安楽死の処置を行っていますか		
④ 鶏舎等の清掃・消毒			
1	鶏舎施設や設備等を清潔に保つため、清掃を行っていますか		
2	鶏舎から鶏を出荷した際は、新しい群の導入前に鶏舎の洗浄、消毒、乾燥を行っていますか		
⑤ 農場内における防疫措置等			
1	家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」に基づき、病原体を農場に侵入させないための衛生管理を行っていますか		
2	病原体の伝播や飼料の汚染の原因となる野鳥、ネズミ、ハエ等の有害動物の侵入防止、駆除に努めていますか		
⑥ 管理者等のアニマルウェルフェアへの理解の促進			
1	管理者及び飼養者は、鶏の健康を維持するために、飼養管理技術の重要性や鶏を丁寧に扱うことの必要性等を理解していますか		
2	日頃から必要に応じて、獣医師等のアドバイスも受けながら、鶏の基本的な行動様式や問題行動、鶏の快適性を高めるための飼養管理方式、病気の発生予防、安楽死の方法等に関する知識の習得に努めていますか		
2 栄養(給餌・給水)			
1	飼料は毎日給与していますか		
2	鶏の発育ステージに応じた適切な栄養素を含んだ飼料を給与していますか		
3	飼料を変更する場合は、計画的かつ段階的に行っていますか		
4	水は、汚染されていない新鮮なものを毎日十分な量給与していますか		
5	飼料と水の消費量を日々チェックしていますか		
6	飼料や水の品質を確保するため、給餌器や給水器は、定期的なチェック及び清掃を行っていますか		
7	鶏が過剰な闘争を起こさないように十分な数の給餌器や給水器及び、餌の摂取や飲水のための十分なスペースが確保されていますか		
8	と鳥前、過度に長時間の絶食が行われないように注意していますか		
3 鶏舎			
1	鶏舎は、鶏のけが等が発生しにくいような構造になっていますか		
2	鶏舎の破損があった場合、それが原因で鶏がけがをしないように注意していますか		
3	管理者及び飼養者にとって、日常の飼養管理や観察が行いやすい構造になっていますか		
4	鶏舎は排泄物処理が適切にできるような構造になっていますか		
4 飼養方式、構造、飼養スペース			
1	床に敷料を使用していますか		
2	敷料は適切な状態で管理されていますか		
3	飼養スペースが適当であるかどうか、鶏の行動や分布等をよく観察したうえで判断し、必要なスペースを確保していますか		

A 経営の基本

7 アニマルウェルフェア 27審査チェックリスト(家畜・畜産物)

認証基準(チェック項目)		はい	該当なし
5 鶏舎の環境			
1	気象や環境の変化によって鶏舎内の温度・湿度が大きく変化しないように注意していますか		
2	鶏の発育ステージに応じて、温度、換気等の管理を行っていますか		
3	鶏の快適性を維持するため、可能な限り、暑熱対策や寒冷対策を行っていますか		
4	アンモニア濃度が25ppm(臭気を感じるレベルを乗り越えて、不快感がおこるレベル)を超えないように留意していますか		
5	鶏舎内の照明は、鶏が飼料及び水の摂取等の行動や管理者が日常作業を支障なく行うことができる明るさになっていますか		
6	一定時間の暗期を設けていますか		
7	鶏舎内の設備等による騒音を可能な限り小さくし、絶え間ない騒音や突然の騒音を避けるよう努めていますか		
6 その他			
1	アニマルウェルフェアの向上を図るため、常に鶏が健康で快適な生活ができているかどうかを把握するための努力をしていますか		
2	自動化された設備(自動給餌器等)がある場合、正常に作動しているかどうか、少なくとも1日1回は点検していますか		
3	農場における火災や浸水、道路事情による飼料供給の途絶等の緊急事態に対応するため、危機管理マニュアル等(連絡網等)を作成していますか		